



# 大和中 スマイル通信

2024 年度 No. 9

「読み聞かせサークルスマイル」

大和中学校のみなさん、こんにちは。

3年生のみなさん最後の読み聞かせでした。小中あわせて9年間、楽しい時間をありがとうございました♪  
次回はよいよ今年度最後です。来年度もみなさんにお会いできるのを楽しみにしています^^

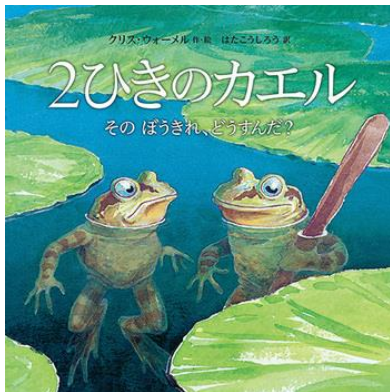
クラス	読んだ本	作者	出版社
1-1	でんでんむしのかなしみ	文：新美南吉 絵：鈴木靖将	新樹社
1-2	あんぱんまん	やなせたかし	フレーベル館
1-3	しあわせハンス 空はみんなのもの	グリム童話 文：ジャンニ・ロダーリ 絵：関口英子 絵：荒井 良二	福音館書店 ほるぷ出版
2-1	こんな生き方がしたい 科学者レイチェル・カーソン	小手鞠るい	理論社
2-2	はしれディーゼルきかんしゃ デーデ	文：すとうあさえ 絵：鈴木まもる	童心社
2-3	神の木偶 曾野綾子の魂の世界	鶴羽伸子	主婦の友社
2-4	もしものせかい	ヨシタケシンスケ	赤ちゃん和妈妈社
2-5	はるさんと1000本のさくら	ただのぶこ	中央公論社
3-1	おかあさんはね I wish you more	文：エイミー・クラウス・ロー ゼンタール 絵：トム・リヒテ ンヘルド 訳：高橋久美子	マイクロマガジン社
3-2	にげてさがして	ヨシタケシンスケ	ポプラ社
3-3	2ひきのカエル -そのぼうきれ どうすんだ?-	作・絵：クリス・ウォーメル 訳：はたこうしろう	徳間書店
3-4	Life ライフ 花の咲く童話集 (3) うめの花 とてんとむし 「野に咲く花 のように」	くすのきしげのり 杉山政美	瑞雲舎 岩崎書店
3-5	絶望は神さまからの贈りもの	ひすいこたろう 柴田エリー	SB Creative
3-6	しりとりのあそび ちゃいろ たくさんのドア	星川ひろ子・星川治雄 アリスン・マギー	小学館 主婦の友社
8組	さよならなんてだいきらい	レベッカ・ドーティ	ほるぷ出版

よろしく  
お願いします



ただいまボランティアの数が足りていません。  
見学からでも大丈夫です。お気軽にどうぞ～ (^ ^)

○ 2ひきのカエル-そのぼうきれ どうすんだ?- 作・絵：クリス・ウォーメル 訳：はたこうしろう



大きなハスの葉の上で、2ひきのカエルが話しています。「なんで、そんなぼうきれを持ってるのさ?」「これは犬よけぼうだ。犬がきたら、こいつでバンバンってやっつけるのさ」「犬がここまでおよいでくるもんか!」

これから卒業していく3年生に、人生はいろんなことが起こるんだということ、備えておくことも大事化もしれないし、それが役に立たない結果になることもあるかもしれない。

とにかくいろんなことがあるんだろう。それをみんな経験して、大きく強く大人になっていってください、と伝えました。

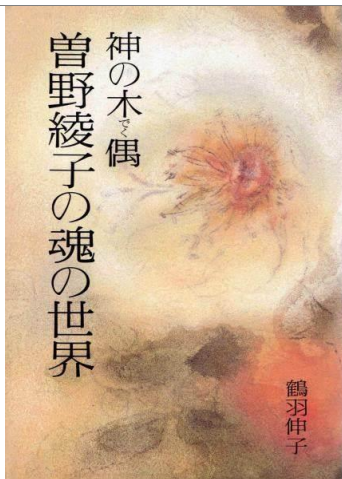
○ はるさんと1000本のさくら ただのぶこ



書店員が選ぶ絵本新人賞2023で大賞をとった75才の新人絵本作家さんの本です。はるさんは、村で一番若いおばあさん。山あいの谷の小さな村にはもう、十人のおばあさんしか住んでいません。「わたしたちに何ができる?」おばあさんたちは村に人がどうしたら来てくれるか話し合っ、みんなで千本の桜を植えることにします。

過疎の村が時を越えて生まれかわり、何かがつながって、誰かに受け継がれていく、優しい物語です。

○ 神の木偶 曾野綾子の魂の世界 鶴羽伸子



もうすごいおばあちゃん作家になってしまった曾野綾子さん。この人の本を読んでも、頭がよくなった気がして気もちよいんですが、この人がどうしてこんな人になったのか?気になって買いました。

書きはじめは、14歳の転校生で変わり者の曾野さんを、筆者鶴羽さんがめっちゃくちやいじめる。それに対して、曾野さんがある行動をする?しない?というところで、前回途中になってしまったので、今回続きを読めてよかったです。

(たまたま、この通信を創っている途中で、曾野綾子さんの訃報が届きました。こちらの本を紹介していただいた直後だったので大変驚きました。ご冥福をお祈りします。編者)

○はしれディーゼルきかんしゃデーデ 文：十河孝男 十河ヒロ子 絵：本田亮



東日本大震災の被災地に燃料を運ぶため、全国から集められたディーゼル機関車が活躍する実話に基づいた話です。

電気などが途絶えた中、ディーゼル機関車なら走ることができる。震災直後、東北本線、東北新幹線、東北自動車道が不通となり、東北への輸送が絶たれました。電気も止まり、寒さと不安に震える被災地の人々に、何とかして燃料を届けなくてはならない。全国から集められたディーゼル機関車は、福島県の郡山まで、大量の燃料タンクを坂道やカーブの多い道を選びました。「情けは人の為ならず」優しさをもって生きれば困った時に誰かが助けてくれる、という話をしました。